

# 氷見市議会企画総務委員会会議録

令和2年6月17日（水）  
氷見市庁舎議事堂委員会室  
開会 午前10時1分  
休憩 午前11時59分  
再開 午後0時59分  
閉会 午後1時35分

- 1 案 件 令和2年6月定例会において企画総務委員会に付託されたもの
- 2 出席委員 6名  
小清水委員長、稲積副委員長、越田委員、荻野委員、澤田委員、嶋田委員
- 3 委員外議員 積良副議長
- 4 職務のため出席した事務局職員 串田事務局長、舛田事務局次長
- 5 説明のため出席した者の職、氏名  
林市長、篠田副市长、京田企画政策部長、高野地方創生推進課長、戸田企画政策部参事（地域振興課長）、布尾新文化施設建設室長、藤澤総務部長、泉澤総務課長、東軒財務課長、三島税務課長ほか関係職員
- 6 傍 聴 人 なし
- 7 経過及び結果
  - ・小清水委員長が開会を宣告し、市長挨拶の後、議事を進行した。
  - ・当局の説明を受け質疑応答を行った結果、議案第43号については賛成多数により、その他の案件については全会一致をもって原案を可決または承認することに決しました（主な質疑応答は別紙のとおり）。
  - ・委員長報告の作成は、委員長に一任され、特記事項には反対者がいたことを付すよう意見があった。

氷見市議会委員会条例第27条第1項の規定によりここに署名する。

令和2年6月17日

氷見市議会企画総務委員長

小清水 勝則

# 令和2年6月企画総務委員会付託案件表

令和2年6月17日（水）午前10時

氷見市庁舎議事堂委員会室

- ◎ 地方創生推進課 10:01～10:05
  - ・ 議案第43号 令和2年度氷見市一般会計補正予算（第2号）中  
地方創生推進課所管に係る事項……………説明書P. 8
  
- ◎ 地域振興課 10:05～10:17
  - ・ 議案第43号 令和2年度氷見市一般会計補正予算（第2号）中  
地域振興課所管に係る事項……………説明書P. 10
  - ・ 議案第45号 氷見市まちなか回遊促進モビリティの設置に関する  
条例の制定について……………議案書P. 12
  
- ◎ 総務課 10:17～10:21
  - ・ 議案第43号 令和2年度氷見市一般会計補正予算（第2号）中  
総務課所管に係る事項……………説明書P. 16
  - ・ 議案第46号 令和2年6月の氷見市長等の期末手当に関する条例  
の制定について……………議案書P. 16
  - ・ 報告第3号 地方自治法第179条による専決処分について……………議案書P. 42
  
- ◎ 税務課 10:21～10:29
  - ・ 議案第47号 氷見市税条例の一部改正について……………議案書P. 17
  - ・ 議案第48号 氷見市地方活力向上地域における市税の特別措置に  
関する条例の一部改正について……………議案書P. 24
  
- ◎ 財務課 10:29～10:42
  - ・ 議案第43号 令和2年度氷見市一般会計補正予算（第2号）中  
財務課所管に係る事項……………議案書P. 1
  
- ◎ 新文化施設建設室 10:42～11:59 12:59～13:35
  - ・ 議案第43号 令和2年度氷見市一般会計補正予算（第2号）中  
新文化施設建設室所管に係る事項……………説明書P. 14

（注）一般会計における繰出金（財務課を除く）、人件費（総務課を除く）、財源補正及び節区分補正に係る説明は不要です。

## 主な質疑応答

地域振興課 稲積委員	新交通システム導入検討事業費について。モビリティの使用料2千円の根拠は、どこかの事例を参考にしたのか。
戸田企画政策部参事	2千円の使用料には「つまみぐいクーポン券」を含んでいるので、実質は1,500円となる。まちなかに誘導することを目的にしており、他の事例より安くなっている。
稲積委員	外国人観光客への説明の準備はどのようにするのか。
戸田企画政策部参事	コロナ後、台湾や中国向けの動画やアプリを用意したい。
澤田委員	いつから実行する計画か。
戸田企画政策部参事	4月にプロポーザルを行い5月に契約し、今は車両の製作やアプリの仕様を詰めているところで、9月から運用していきたい。
澤田委員	契約は観光協会としているのか。
戸田企画政策部参事	まち歩きクーポンは観光協会にお願いしているが、運行の契約はこれから決めていくことになる。
澤田委員	運行事業者をどのように選定するのか。
戸田企画政策部参事	氷見市の観光状況を熟知しているとか、レンタサイクルの貸出や予約の受付の実績のあるようなところを考えている。
澤田議員	選定する資料を提供してほしい。
戸田企画政策部参事	規則に則って実施する。
越田委員	駐車ポイントは何か所ぐらいあるのか。
戸田企画政策部参事	まずは市が管理する駐車場となるが、観光客の動向を見ながら選定していきたい。
越田委員	駐車違反や低速の取り締まられる可能性もあるのではないか。
戸田企画政策部参事	使用にあたっては、ポイントになる駐車場に止めて、散策をしてもらうよう、説明していきたい。

<p>新文化施設建設室 京田企画政策部長</p>	<p>新文化交流施設整備事業費について。予算案の説明の前に一言発言したい。新文化交流施設の補正対応において、議会に対し、説明や報告とともに、具体的資料の提示も不十分で適切ではなかった。報道発表に際しても、事前に説明しておらず、深くお詫び申し上げる。</p> <p>本事業は市民会館休館以来の重要課題であり、本市の未来にかかわり、多くの市民が期待する事業である。関係者の多くの支援により国の都市再生整備計画の採択を受け、令和元年度は社会資本整備総合交付金、令和2年度は都市構造再編集中央支援事業費補助金の内示をもらい、過疎債についても多くの配分額をいただいている。一昨年、文化施設の公共棟と民間棟を一体で整備する事業者を公募したが、事業者選定には至らず事業の進捗が遅れてしまった。昨年度の交付金3億6百4万円、過疎債5億8千7百90万円を今年度に繰越すことになったため、今年度中にはそれらの事業費の実績を上げることが必須となったものである。実績がないときはこれらの交付金を返上することになりかねず、また、今後の再度の交付金の採択は見込めない。そのため早期の事業着手により事業実績を確保したい。実施設計の完了は9月になっているが、現時点において設計額や設計内容が確定したことから、事業の進捗を図るべく必要となる補正予算とともに事業期間の延長をお願いするものである。</p>
<p>嶋田委員</p>	<p>大型事業費でありながら、議会に説明がなかった。やめればいいという議員もいる。今日はしっかりした答弁をしてほしい。なぜ6月定例会に提案しなければならなかったのか。</p>
<p>京田企画政策部長</p>	<p>実施設計作業が進み、発注に必要な資料が揃ってきたので、所要の予算を確保し早く進めたい。工事着工が遅れると、事業実績が交付金の要件を満たさなくなってしまうことを懸念している。</p>
<p>嶋田委員</p>	<p>工事ができないと国の助成を返さないといけないのか。 6月議会で通らなかったら、この事業は市の単費でやらないといけないのか。止めることになるのか。</p>
<p>京田企画政策部長</p>	<p>財源として国の交付金や起債を多く見込んでおり、市単独では実施そのものが難しくなる。確定ではないが、国との協議になる。</p>
<p>嶋田委員</p>	<p>今後、想定外のことがあってもこの事業費のままやれるのか。</p>
<p>京田企画政策部長</p>	<p>想定しえる設計で算出しており、この中でやれると思っている。</p>
<p>嶋田委員</p>	<p>市長に事業費の増額は絶対ないのか聞きたい。</p>

林市長	まず、9月議会になると、工事が遅れ、3億円ぐらいは返すことになる。増額については、世の中に絶対はないが、この金額で納めたい。
越田委員	増額については、西の杜、給食センターと続いており、疑わしく思ってしまう。
京田企画政策部長	全国の事例から標準的な単価から金額を出したが、時間も経ってしまい差異が出てしまった。もっと計画段階で精査すべきだった。
越田委員	ピロティのかさ上げは理解できる。資材費や労務費の高騰は入っていなかったのか。
京田企画政策部長	当時の単価で見積もっており、将来的な部分は入っていなかった。
越田委員	他市の情報収集や動向調査はしたのか。
京田企画政策部長	業界の方にヒアリングをしていたが、当初からの見積もりに入れていなかった。 この当初とは平成31年度予算のことで、事業計画をたてたのは30年度となる。計画していた民間と公共の一体的整備でなくなったことから、公共棟の設計者を選ぶことから始まった。設計内容によって仕様も変わるため、整備費の見直しまで行えなかった。
越田委員	グランドデザイン会議でも検討していたが、杭が残っていることは話に出なかったのか。
京田企画政策部長	認識はあった。
越田委員	認識していたということは、予算内でできると思っていたのか。
京田企画政策部長	既存杭の撤去が少ないよう設計者にお願いしていた。基本設計ができて配置計画を検討する中で、費用の話が出てくるだろうと思っていた。
越田委員	基本設計がずさんだったのか。
京田企画政策部長	当初予算では、公民一体整備の予算を計上していた。
稲積委員	ワークショップを開催し市民の方と決めたビジョンであったと思うが、最後にこの案で行こうと示した開催はいつだったか。細かな設計内容や、今回の削減案のところは入っていたのか。

京田企画政策部長	基本設計を終え、中学生や芸術団体の方の意見も聞いてきた。市民説明会や広報でお知らせしている。
布尾室長	令和元年12月8日に最終案を提示した。令和2年1月19日に市民説明会を開催している。 削減案の内容のところには、市民からいただいた案への影響はない。
稲積委員	削減の内容は、当初の基本設計時に入っているものばかりだ。
布尾室長	設計を進める中で、整備費が膨らんできたので、減額を検討した。
稲積委員	壁を薄くしたことによる防音とかの影響はないか。
布尾室長	影響はない。
稲積委員	ピロティ下にある駐車場の照明を減らすと暗くなるのではないか。
布尾室長	駐車場としての外灯と同じ標準的な明るさになる。
稲積委員	おもいやり駐車場の方も暗くなるのか。
布尾室長	1階のエントランスロビーの明かりも入るが、設計者と協議していく。
稲積委員	外部階段がなくなると、展望デッキに行くにはエレベーターでしか行かれないのか。
布尾室長	2階から3階へは、内部の階段2か所とエレベーター1基が利用できる。
稲積委員	利便性が損なわれるのではないか。
布尾室長	事業費削減の中で運用も考え選択した。いつでも出入りできる外部階段と外部デッキは運用上もよくない。
稲積委員	空調の削減でランニングコストはどのように影響するのか。
布尾室長	性能は変わらない。ランニングコストはこれからシミュレーションする。
稲積委員	レジリエンス機能も考慮したランニングコストの説明はいつ頃になるのか。

京田企画政策部長	省エネを考慮している。管理運営費は今年度中には説明したい。
稲積委員	施設の仕様はランニングコストも含めて判断しなければならない。9月議会前、わかり次第、早く聞かせてほしい。
京田企画政策部長	遅きに失することがないように、出来るだけ早くお示ししたい。
稲積委員	市民に使われ愛される施設になるようにしなければならない。
京田企画政策部長	皆さんに喜んでもらえる施設になるよう広報等でお知らせしていく。
越田委員	今回の案で進めるのか。
京田企画政策部長	基本的にはこの方向で進めていきたい。
越田委員	6月議会から延長した場合、3億円返還しなければならないと言っていたが、コロナの状況を踏まえ国に確認したのか。 (休憩)
林市長	(再開) 昨年度の予算に計上した社会資本整備交付金の3億円と過疎債の6億円を合わせた9億円は、昨年から繰越した。もう一年延期は事故繰越という仕組みはあるが、今回のケースでは難しいと考える。9月議会になると、年度内の出来高が6億円ぐらいにしかならないため返還の恐れがある。事業費の返還となると、氷見市の事業は採択されにくくなると思う。
京田企画政策部長	稲積委員のランニングコストの答弁について、仕様が決まればおおよそわかってくるので、9月議会前にお示ししたい。
荻野委員	国難ともいえるべきコロナ禍の状況となった。沢山の人がある施設のコロナ対策はどのように考えているか。
京田企画政策部長	施設の仕様は各部屋で換気できるようになっている。運用にあたっては慎重に検討していきたい。
荻野委員	市民には生活が大事という声もある。繰越について、事故繰越にならないか国への要望はしたのか。立ち止まることの問題点はどのようなことがあるか。
京田企画政策部長	経済的な問題に対しては、国や県に現場の声をあげていきたい。

林市長	<p>市民の待ち望む声もある。財政面では交付金や過疎債は一旦やめれば再度はない。景気後退の局面では、公共事業により景気の刺激効果もある。</p> <p>また、今は東京オリンピックの需要が終わったところで、2、3年すると大阪万博の需要が出てくる。アフターコロナを見据え、お認めいただきたい。</p>
稲積委員	<p>3億円の減額がなかったら、全体で50億円になっていたということか。3月議会の時点で、わからなかったのか。</p>
京田企画政策部長	<p>実施設計に入った段階でわかった。</p>
稲積委員	<p>設計者は、当初の予算額の中に納めるよう考えるのが基本ではないか。</p>
京田企画政策部長	<p>予算の中で設計する内容であったが、増要素が出てきた。</p>
越田委員	<p>本会議の答弁で、財調の令和10年度末の残高を12億7千万円と見込んでいるといていたが、その中には新文化施設の整備費は入っていないと発言していなかったか。</p>
藤沢総務部長	<p>新文化施設の管理費は見込んでいるが、増額分を入れていないと申し上げた。過疎債の充当や企業版ふるさと納税等も活用し、12億円を達成できると見込んでいる。</p>
越田委員	<p>税収の変動やふるさと納税の基金、財調、財政比率等を注視して行ってほしい。</p>
藤沢総務部長	<p>財政見直しを見直しながら、特に大型事業に関しては、投資や償還、管理費を見極めていかなければならないと考えている。</p>
嶋田委員	<p>氷見市の核になる施設と確信している。市長の思いを聞きたい。</p>
林市長	<p>市民会館が閉館して5年5ヵ月たった。文化活動はふれスポで仮設のステージを組んで行ったり、中学生は高岡まで行っている。令和には、人々が美しく心を寄せ合うなかで文化が生まれ育つという意味がある。この施設に市民が集い新たな文化が生まれ継承され、文化の発信拠点として、自己表現できる拠点として、それぞれの花を大きく咲かせる施設として、1日でも早く完成させる責務を負っている。</p>
澤田委員	<p>実施設計は9月までが工期でまだ3ヵ月あり、最終のものではない。補正予算の2億7千万円の根拠は。</p>



京田企画政策部長	今年度の増額分は、国に認められた事業を計上したもの。
澤田委員	国の交付金は、公民連携を条件としているのか。
京田企画政策部長	交付金の対象は、新文化施設の公共で行う整備となっている。公民連携でなければならないことはない。

個人別賛否一覧（賛否が分かれた議案のみ）

委員名 案件名		自民同志会					無会派
		稲積 佐門	越田 喜一郎	小清 水勝則	荻野 信悟	嶋田 茂	澤田 勇
議案第 43 号	令和 2 年度氷見市一般会計補正 予算（第 2 号）	○	○	—	○	○	×

※「○」は賛成 「×」は反対 「退」は退席 「欠」は欠席

※委員長は表決に加わらないため「—」と表示してあります。